

## 第12回宇宙産業・科学技術基盤部会 議事要旨

1. 日時：平成27年10月30日（金） 9：30 - 11：00

2. 場所：内閣府宇宙戦略室大会議室

3. 出席者

(1) 委員

山川部会長、松井部会長代理、青木委員、下村委員、中須賀委員、中村委員、松本委員、薬師寺委員、山崎委員、渡邊委員

(2) 政府側

小宮宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、松井宇宙戦略室参事官、内丸宇宙戦略室参事官、高見宇宙戦略室参事官、末富宇宙戦略室参事官、守山宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) 宇宙産業・科学技術基盤に関する工程表の改訂について

「宇宙産業・科学技術基盤に関連する工程表の改訂」に関して、事務局から説明があり、議論を行った。委員からは以下のような意見等があった。（ ）：質問・意見等      ：回答）

在外公館等のネットワークの活用とあるが、在外公館等を具体的にどのように活用して情報を収集するのか。

在外公館等のネットワークを活用する時は、把握すべき情報を国、案件ごとに具体的に特定した上で、収集することを考えている。特に、宇宙システムの導入を検討している新興国において、早い段階（アーリーステージ）での状況を把握する場合等で活用したいと考えている。

「調査分析・戦略立案機能の強化」に関して、各省の調査結果を整理・共有しているが、関係府省等とお互いにメリットが生じる方策とする必要がある。そのため、情報の内容、性格に応じた分類をした上で共有することが重要である。

主要な国際会議等に参加したそれぞれの大学研究者等が収集した情報についても共有、アーカイブしていくことが有効であり、そうした仕組みが必要ではないか。

戦略立案機能の強化に向けて、情報の分析を行う組織に常設性を持たせ、情報が蓄積される仕組みとすることが重要である。また、調査分析能力を持った人材を育てていく必要がある。

JAXAの中で、大学の人材育成をサポートする取組は宇宙科学研究所（ISAS）が負っているのが実情である。ISASだけではなく、JAXA全体で大学の人材育成をサポートする仕組みを構築すべき。

JAXAの取組だけでなく、宇宙以外の分野の仕組みとも連携して、若い人材を育成する取組につなげていくべき。

審議の結果、宇宙産業・科学技術基盤部会としての宇宙基本計画工程表改訂案の取りまとめについては、部会長預かりとして調整をしていくこととなった。

以上